

# HS SERIES

**POWERED STUDIO MONITOR**

# HS 4 HS 3

## 取扱説明書

パワードスピーカーシステム



# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>3</b>
マニュアルについて .....	3
使用上のご注意 .....	4
付属品 .....	5
ケーブルの準備 .....	5
<b>設置 (より良い音で聞くために)</b> .....	<b>7</b>
<b>各部の名称と機能</b> .....	<b>8</b>
背面 .....	8
前面 .....	10
<b>接続</b> .....	<b>11</b>
付属のケーブルでスピーカー同士をつなぐ .....	11
オーディオインターフェースを接続する場合 .....	12
ミキサーを接続する場合 .....	13
シンセサイザーなどの電子楽器を接続する場合 .....	14
コンピューターを接続する場合 .....	15
スマートフォンを接続する場合 .....	16
ヘッドホンを接続する場合 .....	17
<b>電源を入れて音を出す</b> .....	<b>18</b>
<b>困ったときは</b> .....	<b>20</b>
<b>仕様一覧</b> .....	<b>21</b>
<b>寸法図</b> .....	<b>22</b>
<b>周波数特性</b> .....	<b>23</b>
<b>ブロックダイアグラム</b> .....	<b>24</b>

# はじめに

ヤマハ製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。HS4、HS3 は音楽・動画を制作したいお客様に向けた、コンパクトで高音質なスタジオモニターです。

## マニュアルについて

---

### マニュアルの構成

本製品に関連するマニュアルは、次のように構成されています。

#### ● セーフティーガイド (製品同梱)

安全上のご注意について記載しています。製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

#### ● クイックスタートガイド (製品同梱)

設置して音を出すまでの操作を、イラストで説明しています。

#### ● 取扱説明書 (本書)

本製品に関するすべての機能について説明しています。クイックスタートガイドで設置や操作がわからなかった場合は、本書でご確認ください。

本書では、注意事項などを次のように分類しています。



#### 警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



#### 注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

#### ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

#### NOTE

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

同梱のマニュアルはいつでも見られるところに大切に保管してください。また、各マニュアルはヤマハウェブサイトからダウンロードできます。必要に応じてご利用ください。

<https://download.yamaha.com/>

## 使用上のご注意

---

製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱い / お手入れに関するご注意

- **背面の穴（バスレフポート）をふさがない。**  
音質が低下します
- **テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。**  
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- **極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。**  
内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- **温度変化が激しい場所に設置しない。**  
製品内部や表面に結露が発生し、故障したり木部が変形したりする原因になります。  
木部の結露は放置せず、柔らかい布ですぐにふき取ってください。
- **内部に結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。**  
結露した状態で電源を入れると、故障の原因になります。
- **スピーカーユニットに触れない。**  
故障の原因になります。
- **本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。**  
変色 / 変質の原因になります。
- **お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用する。化学ぞうきんや薬品等は使用しないでください。**  
変色 / 変質する原因になります。

## お知らせ

### ■ 製品の機能 / データに関するお知らせ

**XLR タイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです (IEC60268 規格に基づいています)。**

1: グラウンド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (-)

### ■ マニュアルの記載内容に関するお知らせ

取扱説明書 (本書)、セーフティーガイド、クイックスタートガイドに掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。

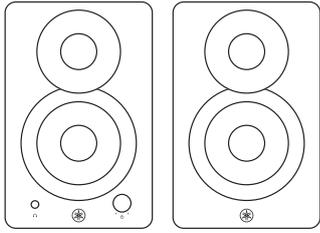
取扱説明書 (本書)、セーフティーガイド、クイックスタートガイドに記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

iPhone と Lightning は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

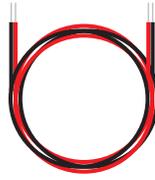
日本では、iPhone は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されている商標です。

Android は Google LLC の商標です。

# 付属品



スピーカー L × 1、R × 1



スピーカーケーブル × 1



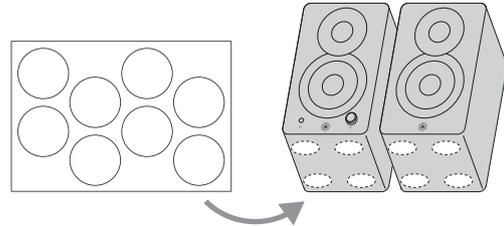
ステレオミニ-RCA ケーブル × 1



クイックスタートガイド × 1



セーフティガイド × 1



滑り止めパッド

スピーカーの底面の四隅に貼ってください。  
すべりやすい机や台などの上に本製品を置く場合にご使用ください。

## ケーブルの準備

HS シリーズをオーディオインターフェースなどの接続機器に接続するケーブルを準備する必要があります。

### • 高品質で短いケーブル

できるだけ短いケーブルを使用してください。長いケーブルを使うと、ノイズが混じることがあります。

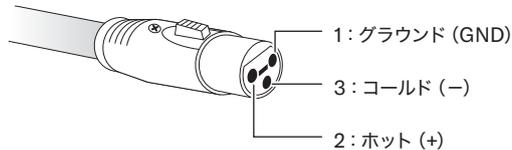
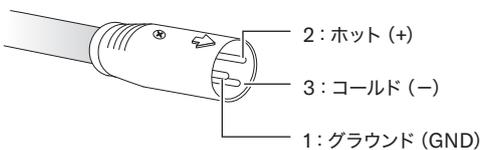
### • バランスケーブル

バランスケーブルはアンバランスケーブルに比べてノイズに強い特長があります。アンバランス出力しかない楽器と接続する場合は、できるだけ短いアンバランスケーブルを使用してください。

## 接続できるケーブル

### • XLR タイプ

XLR タイプのプラグは、プロ用機器や設備機器によく使われます。HS シリーズの XLR タイプの端子は、おもにバランス接続に使われます。

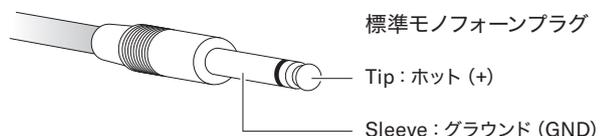
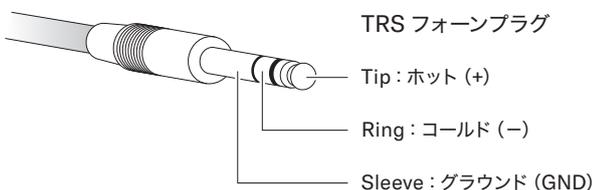


### • フォーン

フォーンプラグには、バランス型とアンバランス型があります。

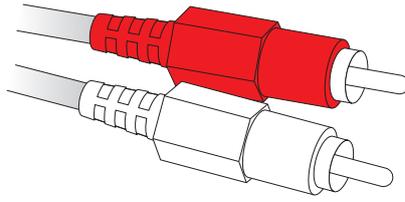
バランス接続する場合は、TRS フォーンプラグが付いているバランスケーブルが必要です。TRS フォーンプラグは、標準ステレオフォーンプラグと基本的に同じです。

アンバランス接続する場合は、標準モノフォーンプラグを使用します。



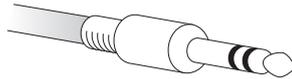
## • RCA ピン

付属のステレオミニ-RCA ケーブルをご使用いただけます。アンバランス接続になります。



## • ステレオミニ

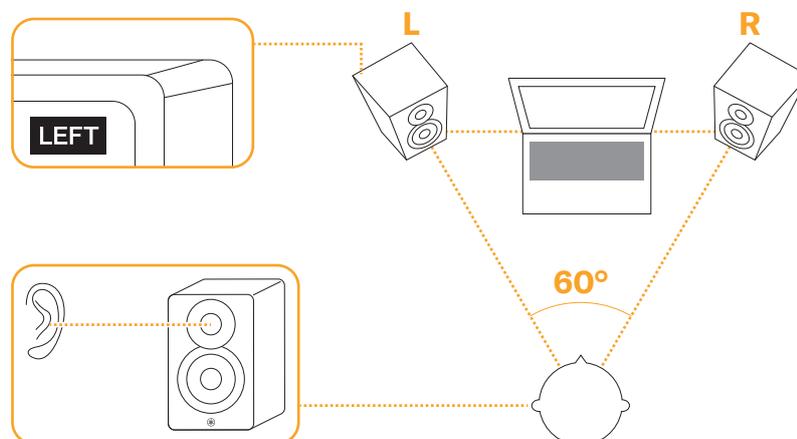
ステレオミニプラグのオーディオケーブルを使用します。



バランス方式	外部からのノイズを打ち消す仕組みになっています。ノイズを拾いやすい長いケーブルを使うときはバランス方式が有利です。
アンバランス方式	ギターやシンセサイザーなど楽器との接続では一般的です。距離が、1～2メートル程度なら問題ありません。

# 設置 (より良い音で聞くために)

本製品はアクティブ (アンプ内蔵) のスピーカー L と、パッシブのスピーカー R の 2 台で構成されています。正確なモニタリングのため、スピーカー L を向かって左に、スピーカー R を向かって右に置きます。背面に「LEFT」と記載があるほうがスピーカー L です。



## ご注意

- ・ バッフル前面を下にして置かないでください。

## モニタースピーカーの設置にはいくつかのポイントがあります。

### ■ 壁やコーナーから離れた場所に設置が理想

壁や部屋のコーナーに近づけば近づくほど、壁からの音の反射によってスピーカーの低音が強調されやすくなります。壁からの距離を確保できない場合は、ROOM CONTROL スイッチを使って、スピーカーの低音が強調されるのを補正してください。壁に近づくにつれて、ROOM CONTROL スイッチを [0] → [-2] → [-4] にすると、自然な低音になります。

### ■ 左右対称に設置

左右対称の位置にスピーカーを設置することをおすすめします。スピーカーから壁までの距離を同一にしてください。

### ■ 自分の位置と正三角形を作るように設置

スピーカー 2 台と自分の位置 (リスニングポイント) の 3 点で正三角形を作るようにします。また、スピーカーのフロントパネルを自分の方向に向けてください。

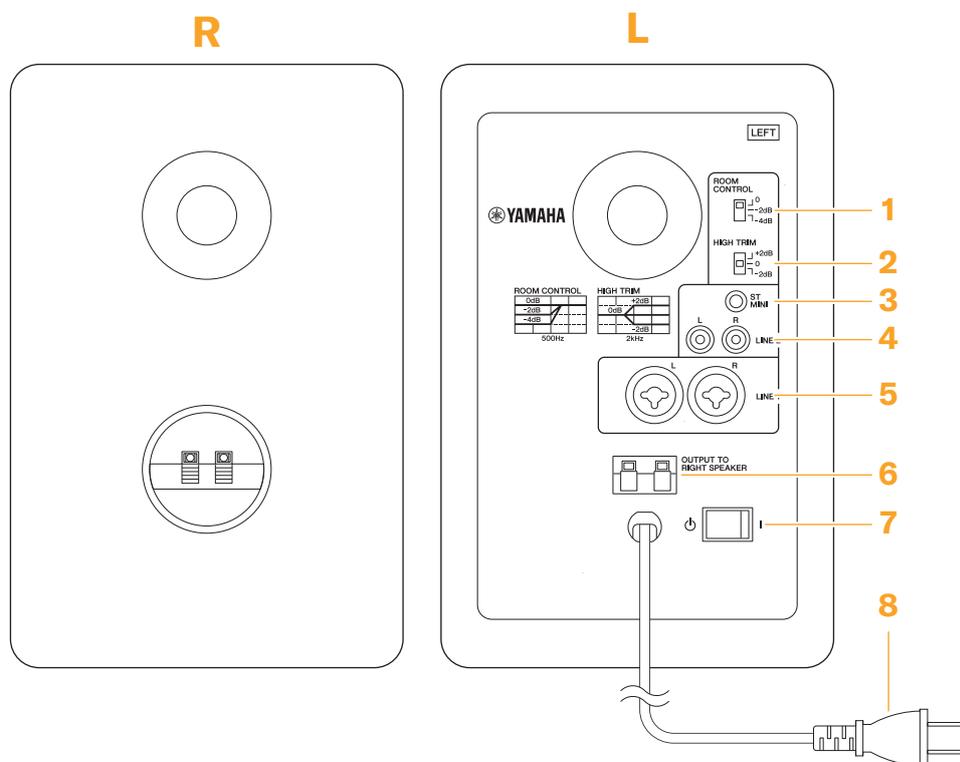
### ■ ツイーターと耳の高さを合わせて設置

ツイーターと自分の耳が並ぶ高さにスピーカーを設置してください。より正確なモニタリングができるようになります。

# 各部の名称と機能

## 背面

バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、本製品の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。



## スピーカーへの入力と音質制御

### 1. ROOM CONTROL スイッチ

スピーカーからの低域の出力特性を補正します。設置環境による音の反射によって低域の聞こえ方が強くなりすぎるのを調整します。[0] にするとフラットな特性になります。[-2dB] にすると 500Hz 以下を 2dB カット、[-4dB] にすると 4dB カットします。

### 2. HIGH TRIM スイッチ

高域のレベルを調整します。[0] にするとフラットな特性になります。[+2dB] にすると 2kHz 以上を 2dB ブースト、[-2dB] にすると 2dB カットします。

### 3. ST MINI 端子

ステレオミニプラグに対応するアンバランス型の入力端子です。スマートフォンなどを接続します。

### 4. LINE 2 (L/R) 端子

RCA ピン端子 (L/R) です。コンピューターや、MP3 プレーヤー、CD プレーヤーなどの機器を接続します。アンバランス型の入力端子です。付属のケーブル (ステレオミニ-RCA ケーブル) をご使用いただけます。

### 5. LINE 1 (L/R) 端子

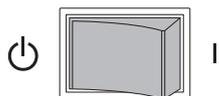
XLR とフォーンの両プラグに対応したバランス入力のコンボ端子です。ラインレベルのシンセサイザーやミキサー、オーディオインターフェースを接続します。

### 6. OUTPUT TO RIGHT SPEAKER

スピーカー R に信号を送る端子です。付属のスピーカーケーブルでスピーカー R と接続します。

## 7. [ ㊤ / | ] (スタンバイ/オン) スイッチ

この製品の電源をスタンバイとオンに切り替えます。スイッチを [ | ] 側に倒すとオン、[ ㊤ ] 側に倒すとスタンバイになります。

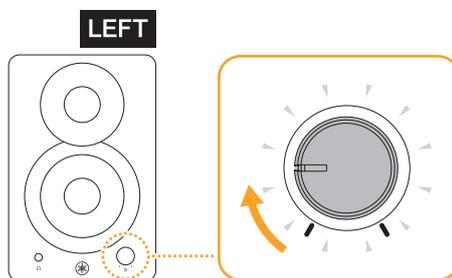


### ご注意

- ・ [ ㊤ / | ] スイッチのスタンバイ/オンを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、5 秒以上の間隔を空けてください。
- ・ 本製品は保護回路を内蔵しています。過大な入力がかかると、保護回路が動作して電源がオフになります。この場合、このスイッチをスタンバイにして 3 秒以上の間隔を空けてから再度オンにしてください。
- ・ [ ㊤ / | ] スイッチを切った状態 ([ ㊤ ] 側に倒している) でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### NOTE

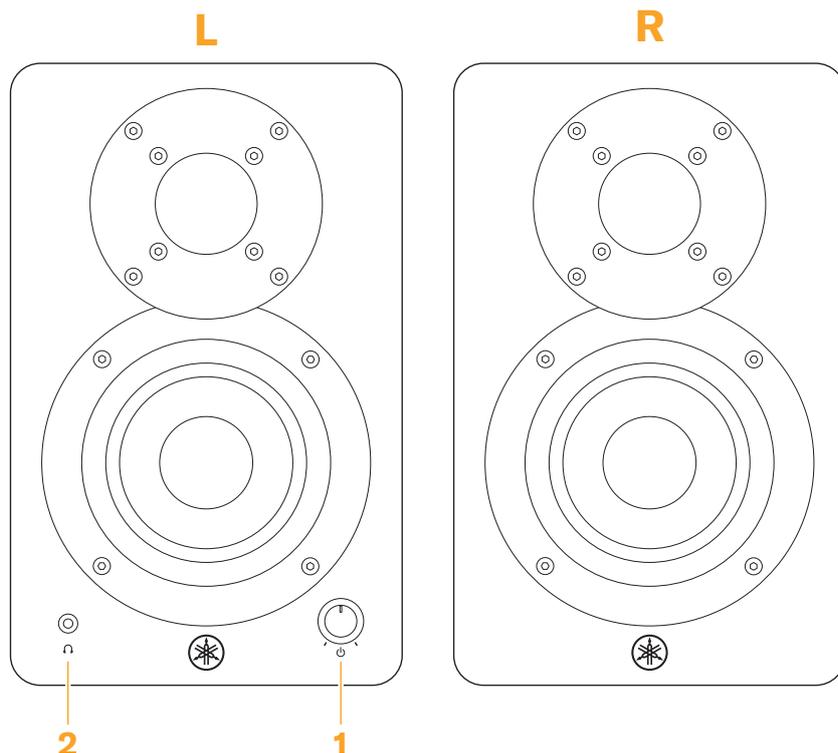
- ・ スピーカー L の前面に音量調節を兼ねた [ ㊤ ] / 音量ノブがありますので、音を出すときはこちらにもオンにします。



## 8. 電源コード

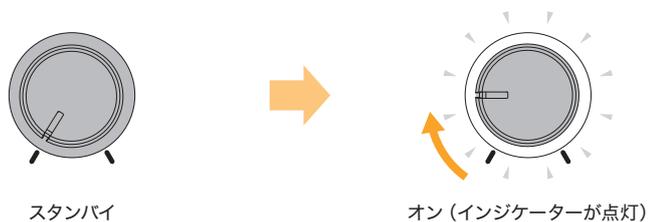
コンセントに接続します。

# 前面



## 1. [⏻]/音量ノブ

電源のオン/オフと音量調節を兼ねたノブです。右に少し回すとオンになります。

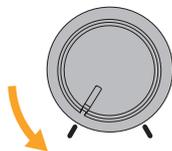


### 音量の調節

オンのとき、ノブを右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

### 電源を切る

電源を切りたいときは左に回して元の位置に戻します。(インジケーターが消灯)



### ご注意

- ・ [⏻]/音量ノブのスタンバイ/オンを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。[⏻]/音量ノブをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、5秒以上の間隔を空けてください。
- ・ 本製品は保護回路を内蔵しています。過大な入力がかわると、保護回路が動作して電源がオフになります。この場合、背面の[⏻/|]スイッチをスタンバイにして3秒以上の間隔を空けてから再度オンにしてください。
- ・ [⏻]/音量ノブを切った状態(インジケーターが消えている)でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 2. ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。ヘッドホン接続中はスピーカーから音が出ません。

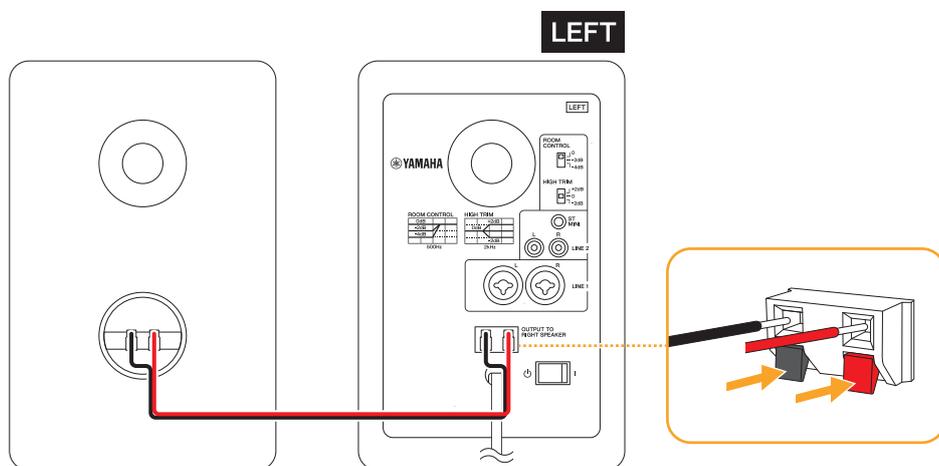
# 接続



## 警告

- ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
- 電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量（ボリューム）を最小にする。  
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。
- オーディオシステムの電源を入れるときは、本製品をいつも最後に入れる。電源を切るときは、本製品を最初に切る。  
聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

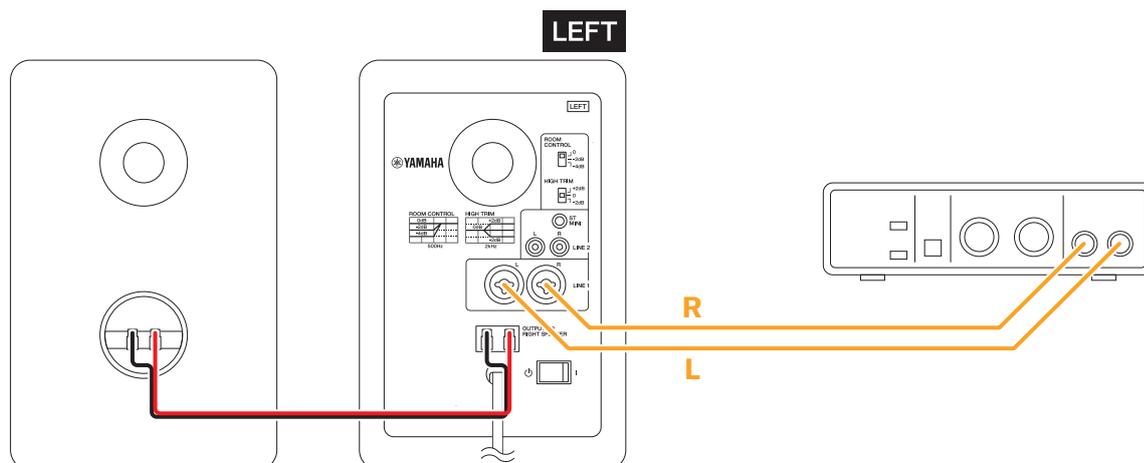
## 付属のケーブルでスピーカー同士をつなぐ



赤いほうを赤い端子に、黒いほうを黒い端子に差し込みます。

## オーディオインターフェースを接続する場合

HSシリーズをオーディオインターフェースの出力端子に接続します。DAW (Digital Audio Workstation) の設定にもよりますが、通常はオーディオインターフェースの LINE OUT 1/2端子 (1L/2R出力端子) に接続します。



### おすすめのケーブル

- 接続先がバランス型のフォーン端子の場合：

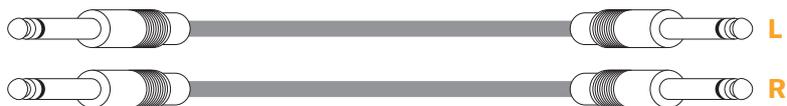


6.3 mm TRS フォーンケーブル  
または



XLR - 6.3 mm TRS フォーンケーブル

- 接続先がアンバランス型のフォーン端子の場合：



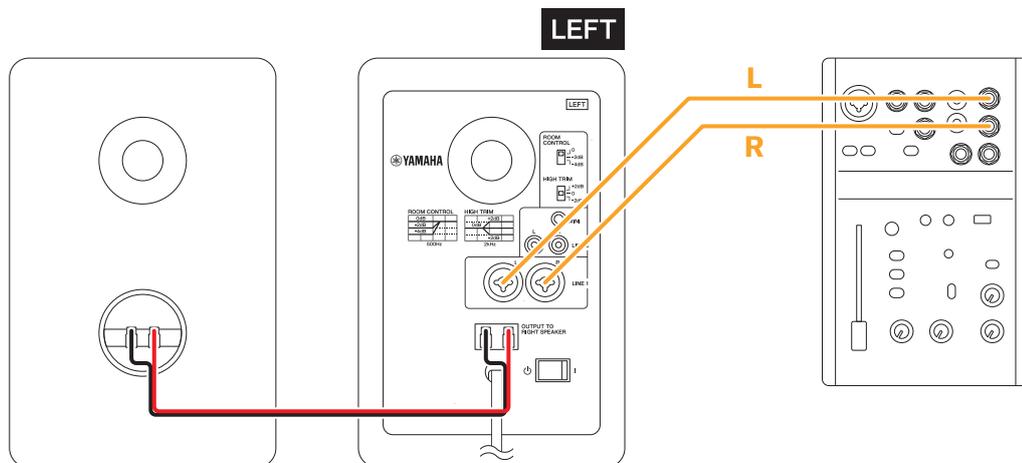
6.3 mm 標準モノフォーンケーブル

### NOTE

- ・ 端子の詳細については「[接続できるケーブル](#)」を参照してください。バランス型とアンバランス型のフォーン端子の形状は異なります。

## ミキサーを接続する場合

HS シリーズをミキサーに直接接続する場合は、ミキサーの MONITOR OUT 端子または C-R OUT (Control Room) 端子に接続します。MONITOR OUT 端子または C-R OUT 端子に接続すると、ミキサーのメインバスに送られる信号のレベルとは独立してモニターレベルを調整できます。



### おすすめのケーブル

- 接続先が XLR 端子の場合:



XLR ケーブル

- 接続先がバランス型のフォーン端子の場合



6.3 mm TRS フォーンケーブル

- 接続先がアンバランス型のフォーン端子の場合



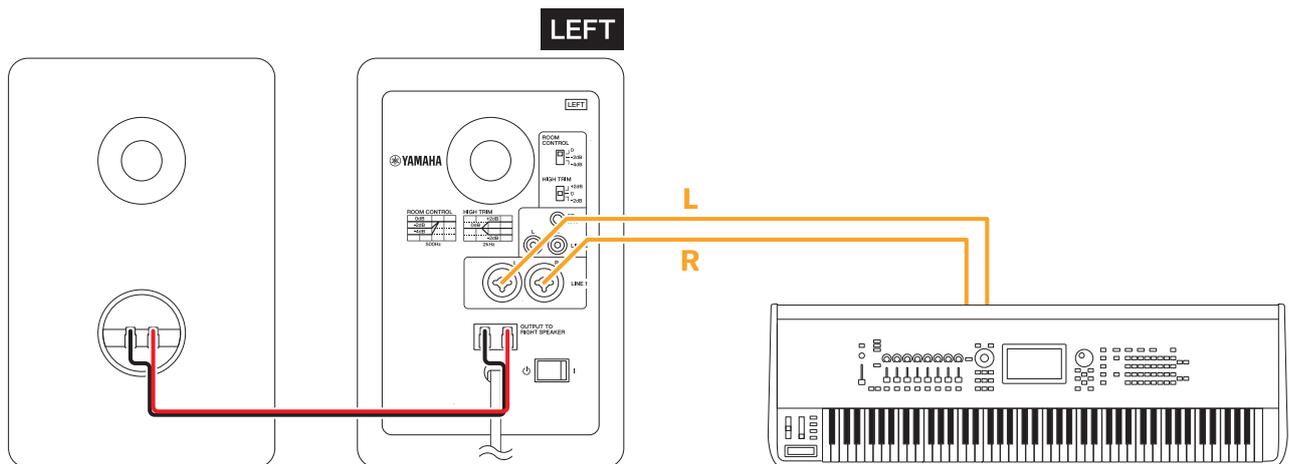
6.3 mm 標準モノフォーンケーブル

### NOTE

- ・ 端子の詳細については「[接続できるケーブル](#)」を参照してください。バランス型とアンバランス型のフォーン端子の形状は異なります。

## シンセサイザーなどの電子楽器を接続する場合

HS シリーズを電子楽器の OUTPUT L/MONO、R 出力端子に接続します。



### おすすめのケーブル

- 接続先がアンバランス型のフォーン端子の場合



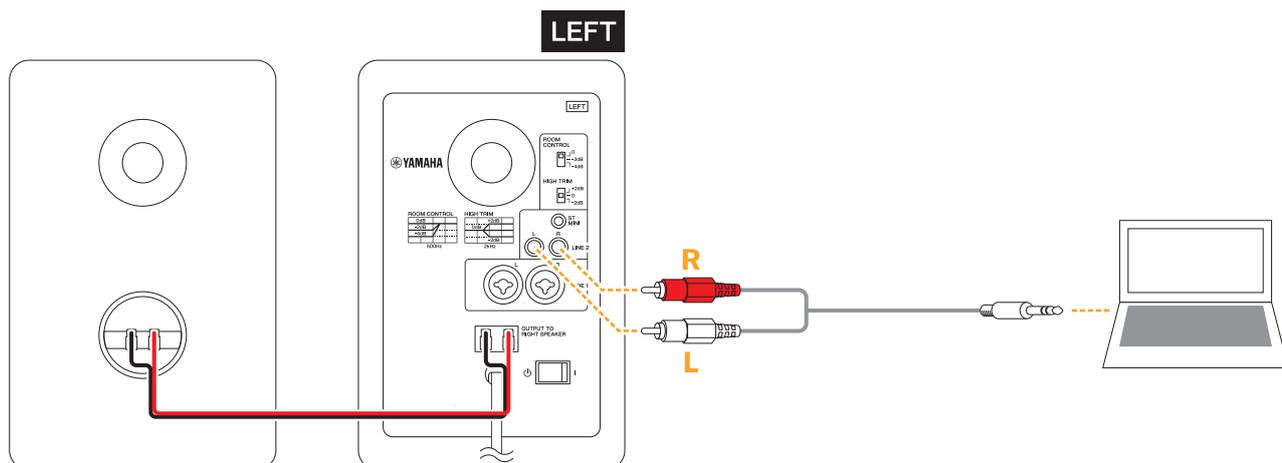
6.3 mm 標準モノフォーンケーブル

### NOTE

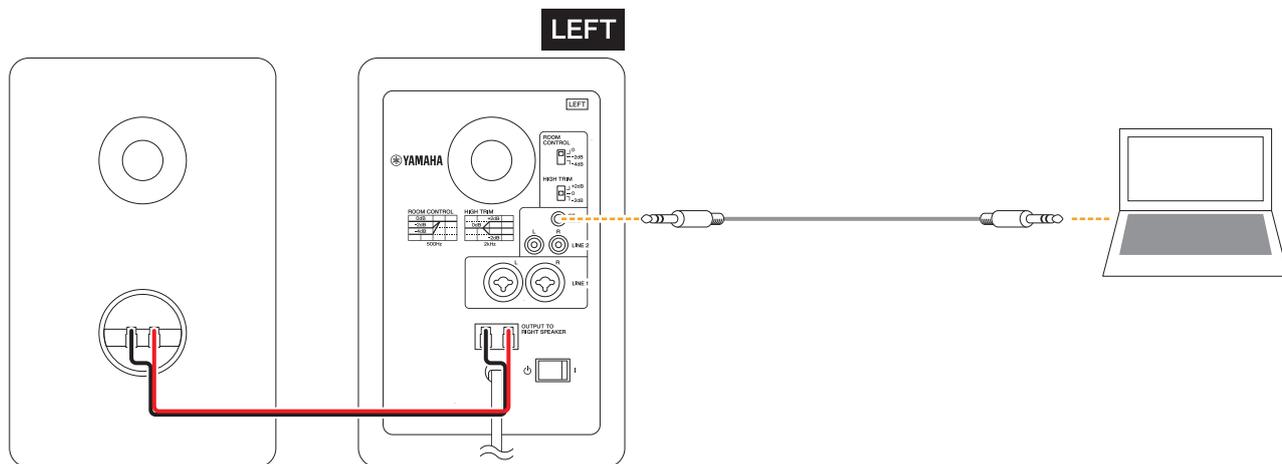
- ・ 端子の詳細については「[接続できるケーブル](#)」を参照してください。バランス型とアンバランス型のフォーン端子の形状は異なります。

## コンピューターを接続する場合

付属のステレオミニ-RCA ケーブルを使って、コンピューターのヘッドホン出力端子と本製品の RCA ピン端子を接続します。

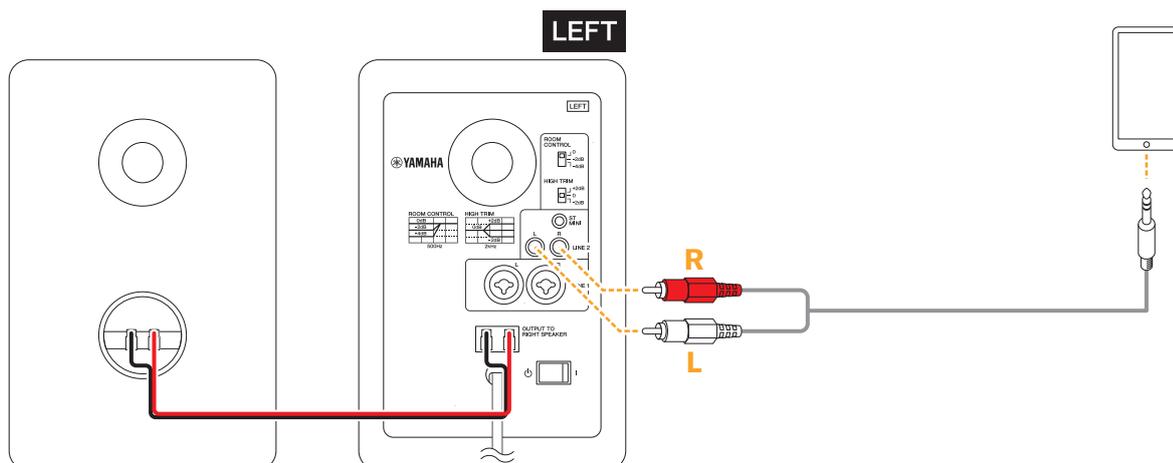


市販のステレオミニプラグのケーブルを使って、コンピューターのヘッドホン出力端子と本製品の ST MINI 端子を接続します。

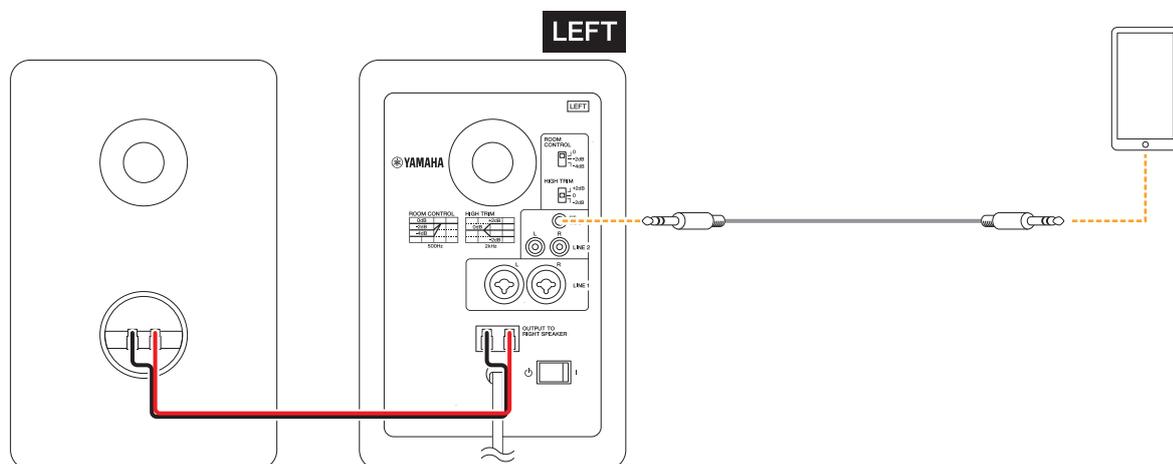


## スマートフォンを接続する場合

付属のステレオミニ-RCAケーブルを使って、スマートフォンのイヤホンジャックと本製品のRCAピン端子を接続します。



市販のステレオミニプラグのケーブルを使って、スマートフォンのイヤホンジャックと本製品のST MINI 端子を接続します。

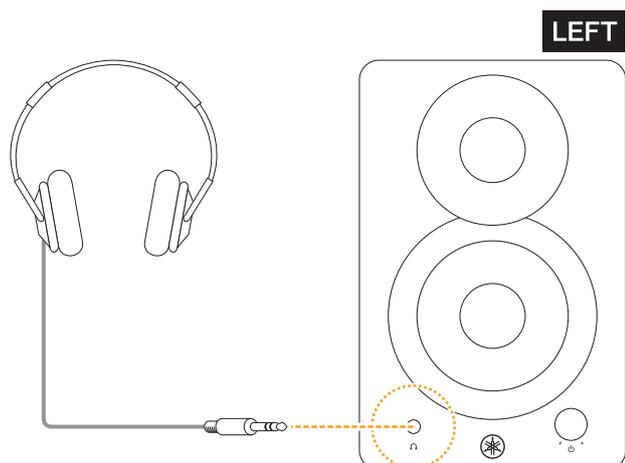


### NOTE

- USB C 端子で音声の入出力を行う Android 端末には USB C-3.5 mm 4 極イヤホン端子変換アダプタケーブル、Lightning 端子の iPhone には Lightning - 3.5mm ヘッドフォンジャックアダプタをご用意ください。

## ヘッドホンを接続する場合

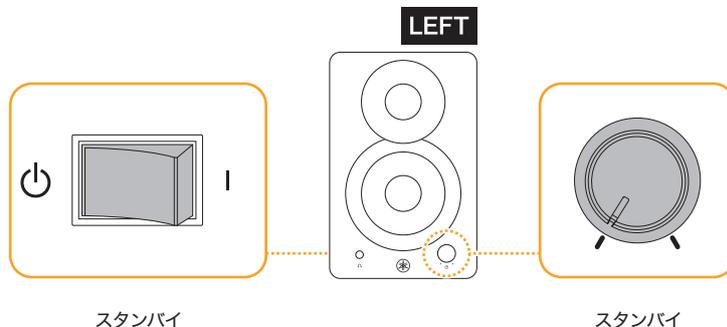
ステレオミニプラグのついたヘッドホンを接続します。



# 電源を入れて音を出す

設置したあと、以下の手順で設定してください。

1. 本製品を接続する前に、本製品や接続している機器のすべての電源が切れていることを確認してください。

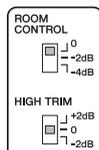


2. 接続機器（オーディオインターフェースなど）の出力レベルを絞った状態にしてください。
3. スピーカー L と R を付属のスピーカーケーブルで接続してください。

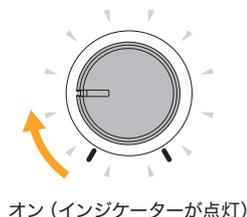
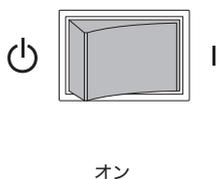
## ⚠ 注意

- ・市販のスピーカーケーブルもご使用いただけます。その場合はスピーカー接続専用のスピーカーケーブルをご使用ください。それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

4. 外部機器を接続し、電源コードを接続します。
5. 本製品の ROOM CONTROL スイッチ、HIGH TRIM スイッチを 0dB に設定してください。



6. 接続機器、本製品（背面→前面）の順に電源をオンにしてください。  
前面の [ ㊦ ] / 音量ノブは時計回りに少し回すとオンになり、インジケータが点灯します。

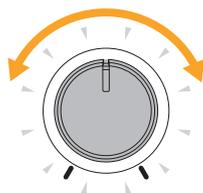


## ⚠ 警告

- ・電源を切るときは、本製品（前面→背面）、接続機器の順で切ってください。

## 7. 音量を調節します。

前面の [ 0 ] / 音量ノブは音量調節を兼ねています。点灯中は左右に回して音量調節できます。ここでは 12 時に設定してください。



## 8. 接続機器から信号を出して、徐々にレベルを上げてください。

### ご注意

- ・急に大きな音を入力しないでください。機器が破損するおそれがあります。

## 9. 長時間使用しても疲れなレベルに設定してください。

### NOTE

- ・必要に応じて ROOM CONTROL スイッチと HIGH TRIM スイッチで調整してください。

## 困ったときは

症状	考えられる原因	対策方法
電源が入らない、フロントパネルのインジケーターが点灯しない	電源コードが正しく接続されていない	電源コードを正しく接続してください。
	電源スイッチがオンになっていない	電源スイッチ（背面と前面）をオンにしてください。それでも電源が入らない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
音が出ない	ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続してください。
	外部機器から信号が出力されていない	外部機器から信号を出力してください。
	レベルが低い	外部機器からの出力を上げてください。
音が異常	ケーブルが劣化 / 断線している	ケーブルを交換してください。
	外来ノイズを拾っている	ケーブルの配置を変えてみてください。
		スピーカー周辺にある機器の位置を変えてみてください。
左右の音量差がある	前面の1つの音量ノブで左右2つの音量をコントロールしているため、音量差を調整できません。音量ノブを小さな位置に設定したときに、音量差が大きくなる傾向がありますが、部品の性能限界です。	本製品の LINE 端子は入力感度が異なります。LINE1(L/R) 端子 (XLRとフォンに対応したコンボ端子) で入力する場合、LINE2(L/R) 端子 (RCAピンやステレオミニ) を使用する場合よりも音の出力が 14 dB 小さくなります。音量ノブを大きな位置に設定できるので音量差が小さくなります。

# 仕様一覧

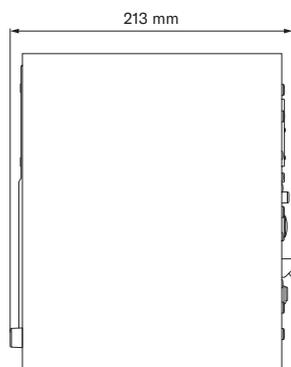
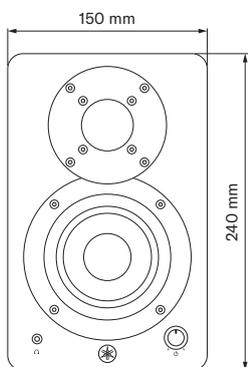
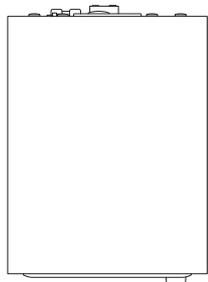
		HS4	HS3
<b>主要規格</b>			
システムタイプ	2-way パワードスピーカー		
再生周波数帯域 (-3 dB)	83 Hz - 20 kHz		85 Hz - 20 kHz
再生周波数帯域 (-10 dB)	60 Hz - 22 kHz		70 Hz - 22 kHz
クロスオーバー周波数	2.3 kHz		3.2 kHz
最大出力音圧 (実測値ピーク、IEC ノイズ @1m)	102 dB SPL		100 dB SPL
寸法 (W × H × D)	L 側	W150 × H240 × D213 mm	W132 × H223 × D189 mm
	R 側	W150 × H240 × D203 mm	W132 × H223 × D177 mm
質量	L 側	3.7 kg	2.8 kg
	R 側	3.1 kg	2.1 kg
入力端子	L 側	COMBO (XLR/TRS Phone) × 2	
		RCA × 2	
		Stereo Mini	
R 側	スピーカー入力		
出力端子	L 側	ヘッドフォン	
		スピーカー出力	
<b>スピーカー部</b>			
エンクロージャー	2Way バスレフ型、材料：MDF		
コンポーネント	ツイーター：1" ドーム		ツイーター：0.75" ドーム
	ウーファー：4.5" コーン		ウーファー：3.5" コーン
定格インピーダンス	6 Ω		
<b>アンプ部</b>			
定格最大出力	ダイナミック, RL=6 Ω	26 W + 26 W	
	THD 0.1%, 1 kHz, RL=6 Ω	20 W + 20 W	
入力インピーダンス	LINE 1 (COMBO) : 20 k Ω、LINE 2 (RCA, ST Mini) : 10 k Ω		
入力感度 (Volume : Maximum)	LINE 1 (COMBO) : +4 dBu、LINE 2 (RCA, ST Mini) : -10 dBu		
最大入力	LINE 1 (COMBO) : +20 dBu、LINE 2 (RCA, ST Mini) : +6 dBu		
入力端子	LINE 1 : COMBO (XLR/TRS PHONE)		
	LINE 2 : RCA, Stereo Mini		
コントロール	フロント : ボリューム		
	ROOM CONTROL SWITCH	0/ - 2/ - 4 dB under 500 Hz	
	HIGH TRIM SWITCH	+2/0/ - 2 dB above 2 kHz	
インジケーター	Power ON (白 LED)		
電源電圧 (*)	お買い上げの地域により 100-240 V、50/60 Hz		
消費電力	15 W		
	・ OFF mode 0.0 W (Standby/on sw off) ・ Standby mode 0.47 W (Standby/on sw on and Power standby sw off)		
<b>アクセサリ</b>			
付属品	ステレオミニ -RCA ケーブル 1.5 m		
	スピーカーケーブル 2.5 m		
	滑り止めパッド		
	クイックスタートガイド		
	セーフティーガイド		

\* 本製品は 100V ~ 240V で動作はしますが、電源電圧によってリミッターの設定が異なるため、製品のリアパネルに表示されている電源電圧で使用してください。

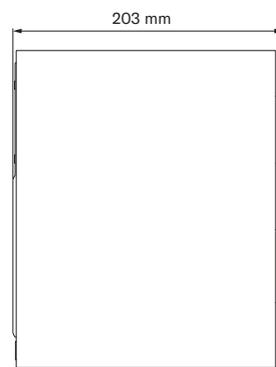
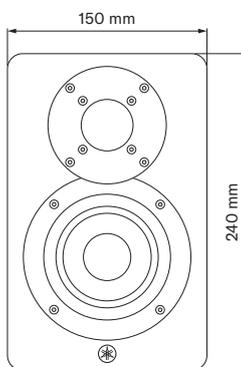
本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。

# 寸法図

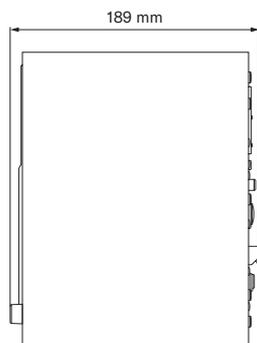
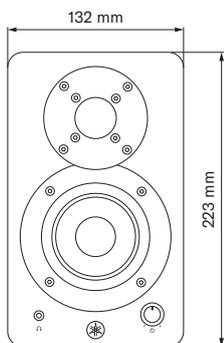
## HS4 L側



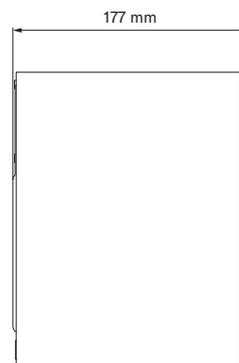
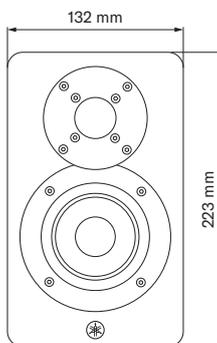
## HS4 R側



## HS3 L側

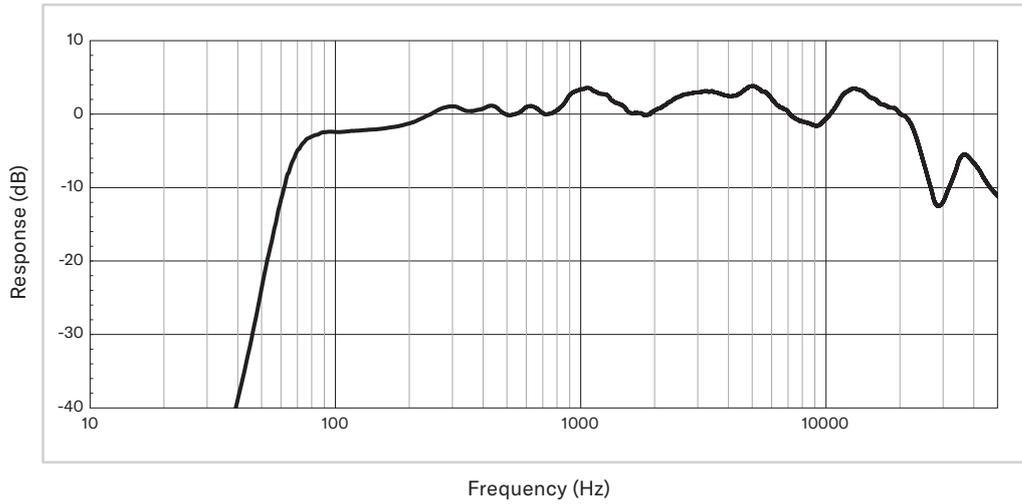


## HS3 R側

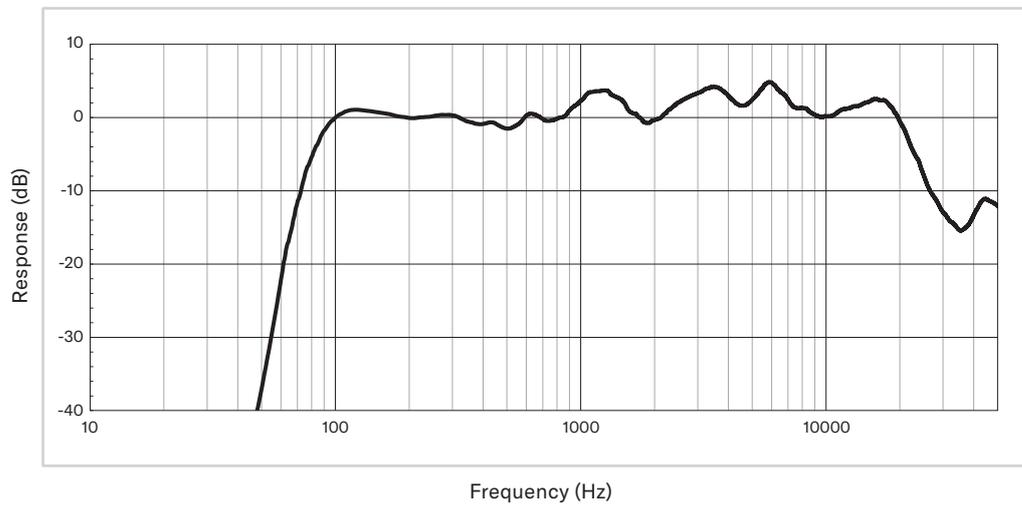


# 周波数特性

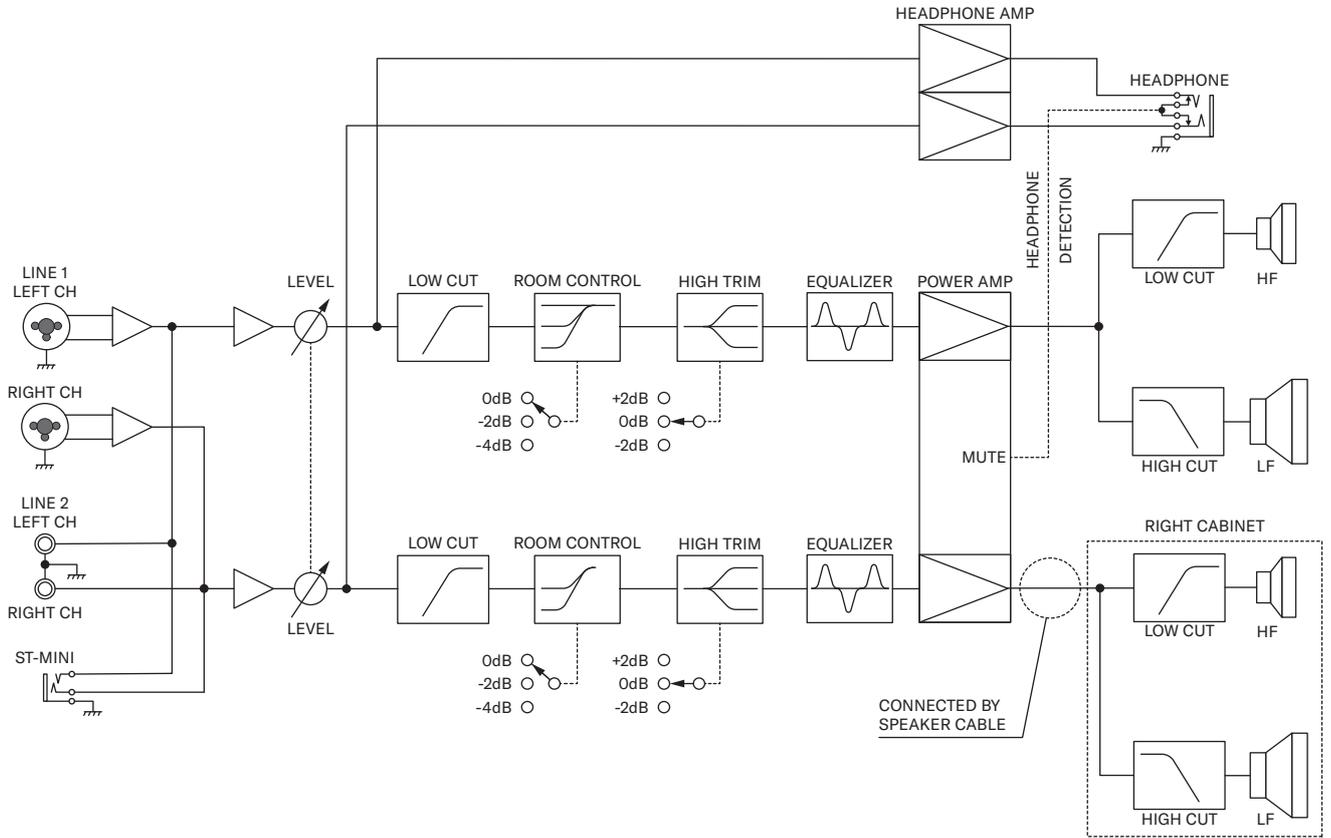
## HS4



## HS3



# ブロックダイアグラム







**ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト**

<https://www.yamahaproaudio.com/>

**ヤマハダウンロード**

<https://download.yamaha.com/>

**ヤマハ株式会社**

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

© 2023 Yamaha Corporation

2024 年 7 月 発行

MW-B1